

補助事業番号 2019M-047
補助事業名 2019年度 医療機器の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人がん研究会

1 補助事業の概要

事業の目的

培養細胞のハイスループットイメージングと定量化

2 予想される事業実施効果

ハイスループットなライブセルイメージングにより細胞内器官や蛋白・核酸の分布を画像情報として大量に取得可能となる。

3 本事業により導入した機器

① 多次元ハイコンテンツアナリシスシステム

多次元ハイコンテンツアナリシスシステムは、イメージの取得から解析、データベースまでを一体化したシステムで、操作性を重要視したインターフェイスで簡単に実験を始められ、アッセイ構築をより簡単に行えて自由度の高いカスタマイズ機能によりアッセイの最適化を簡便に行える。

(https://www.jfcr.or.jp/donation/assets/pdf/info_jka_2019.pdf)



設置場所：【公益財団法人がん研究会 がん研究所 217共通機器室】

② 本事業に係る印刷物等

機関紙 : がんけん 2020年 5月発行分 ('20 No. 2) 掲載準備中
がん研ホームページ

(https://www.jfcr.or.jp/donation/assets/pdf/info_jka_2019.pdf)

KEIRIN
競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2019年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了しました。
本事業の実施により、整備された機器は目的に沿って活用され、がん治療薬の開発研究に生かすことを目指しております。

記

事業名	2019年度機械振興補助事業(医療機器の整備)補助事業
事業の内容	難病に関する研究機器(医療機器)の整備補助事業
補助金額	14,974,200円
実施場所	東京都江東区有明三丁目8番31号
完了年月日	2019年9月24日

・整備機器



◆多次元ハイコンテントアナリシスシステム Operetta CLS Perkin Elmer 社
ハイスループットなライブセルイメージングにより細胞内器官や蛋白・核酸の分布を画像情報として大量に取得可能となる

・使用目的
多次元ハイコンテントアナリシスシステムの導入により、操作性を重視したインターフェースによるイメージ取得、イメージ解析、データベースがオールインワンで行えるため、培養細胞のハイスループットイメージングと定量化が行え、マイクロ画像を高解像度かつ高感度で大量に取得することができる。

公益財団法人がん研究会
理事長 馬田 一

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 公益財団法人がん研究会 (コウエイキョウ イダノホウジンガノケンキュウカイ)

住所 : 〒135-8550

東京都江東区有明三丁目8番31号

代表者 : 理事長 馬田 一 (リジチョウ バダ ハジメ)

担当部署 : 研究本部 研究管理課 (ケンキュウホンブ ケンキュウカンリカ)

担当者名 : 研究管理課課長 嶋田 哲也 (ケンキュウカンリカチョウ シマダ テツヤ)

電話番号 : 03-3570-0435

F A X : 03-3570-0436

E-mail : kenkyu-kanrika@ml.jfcr.or.jp

U R L : <https://www.jfcr.or.jp>